

ほっかいどうピース・トレードニュース

2025年5月31日夏が近づく号(第13号)



NPO法人 ほっかいどうピーストレード

003-0803 札幌市白石区菊水3条1丁目6-12
TEL 090-8897-3134 FAX 011-812-4377
FB:ほっかいどうピーストレード

農薬も肥料も使わず、放射能にも汚染されない 今年も測定しました！ 東ティモール マウベシ・コーヒー

さっぽろ市民放射能測定所 はかーる・さっぽろ 代表 富塚とも子

2025年2月3日、「はかーる・さっぽろ」は、ほっかいどうピーストレードさんの依頼で、東ティモール マウベシ・コーヒーの放射能検査を行いました。検査した放射性物質は、どれもガンマ線という放射線を出す、セシウム137、セシウム134、ヨウ素131です。今年も、結果は不検出(ND)でした。

ヨウ素131は甲状腺に集まり、甲状腺がんを多発させます。ガンマ線によって傷つけられた甲状腺はがん化する確率が高まります。事故当時福島県内に居住していた子どもたちの甲状腺がんは現在分かっているだけでも397人となりました。セシウムは、科学的な性質がカリウムによく似ています。食品に含まれた放射性セシウムを人体はカリウムと認識します。体内に取り込まれた放射性セシウムは全身に分散し、健康へ負の影響を与えます。放射線が、細胞を直接傷つけるだけではなく、大量の活性酸素を発生させるため、免疫力が下がり、あらゆる疾病の罹患率が上がるのです。東京電力福島第一原発事故によって環境中に大量に放出されたこれらの放射性物質が北海道の土壌や農海産物に含まれていないことを確かめたくて、2012年5月、はかーる・さっぽろは測定活動を始めました。そして、様々な食品や土などの測定により、北海道の農産物は同原発事故の影響をほとんど受けていな

とがわかりました。しかし海産物については、2022年7月に胆振沖のマダラから微量のセシウム137が検出されています(北海道の放射性物質モニタリング)。

予想もしなかった汚染も明らかになりました。1960年代に行われた大気圏内核実験由来のセシウム137が道内のキノコ、タケノコ、ワラビ、ササなどから検出されたのです。北海道は広いので、地域によって濃淡がありますが、汚染はいまも続いています。理論上、セシウム137の汚染が1000分の一になるのは、2260年ということになります。

原発事故は未だ継続中です。災害多発国である日本で、溶融し飛散した莫大な核燃料が今後環境にどのような影響を与えるのが心配されます。核兵器も原発もない社会が実現するまでは、被曝のリスクを回避するために地道に測定を続けるしかないと私たちは考えています。ほっかいどうピーストレードさんをはじめとする市民のみなさんからの測定依頼は、私たちを支えてくれる大きな力です。ありがとうございます。マウベシコーヒーの安全とおいしさも、関わる人々の真摯な働きによって支えられています。測定所を維持し測定活動を続けることで、私たちもその一隅に加えていただきたいと強く願っています。



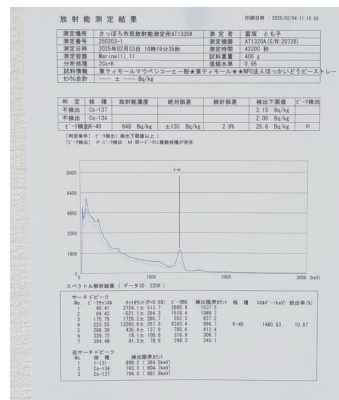
はかーる・さっぽろは、札幌市西区・地下鉄琴似駅から徒歩5分の場所にあります。活動趣旨に賛同してくださる会員を募集しています。詳しくは携帯09070556729富塚までどうぞよろしくお願いいたします。



測定するときは、1ℓの容器に隙間なく詰めます。マウベシコーヒーは挽いた状態で、この容器にピッタリ400g入ります。測定時間は12時間です。



右下に見えるのが、ベラルーシ製の測定器です。真ん中にマウベシコーヒーをセットしています。測定は、厚い鉛のふたを閉めて行います。測定データは左上のPCにオンラインで表示され、保存することができます。



マウベシコーヒーの測定結果です。グラフのように見える部分は、ガンマ線を出す、様々な放射性物質の多寡を感覚的に見えるようにしてあります。はっきりとND(不検出)を示しています。